

WHC7M2

保証書付



付属品

カメラ用ACアダプター	1個
(コード約1.8m)	
モニター用ACアダプター	1個
(コード約1.4m)	
アンテナ	1本
アンカー(カメラ設置用)	3本
ねじ(カメラ設置用)	3本
六角レンチ(カメラ角度調整用)	1個
LANケーブル(約1.5m)	1本

- 本機は、防犯を保証する機器ではありません。
ご使用中に、人命・財産などに損害が生じてても、当社は責任を負いかねます。
予めご了承ください。
- 本機は、インターネットに接続しなくてもご使用いただけますが、スマートフォン・タブレットで映像を見る場合、およびソフトウェアアップデートを行う場合には、インターネット環境が必要です。
- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

目次

はじめに

特長	3
安全上のご注意	4
ご使用になる前に	
使用上のご注意	7
無線電波についてのご注意	8
人感センサーによるモーション検知について	8
日時設定について	9
microSDカードについて	9
外付けハードディスクについて	9
必ずお読みください	10
商標について	10
本機の譲渡や廃棄をするときのご注意	10
各部の名称	11

設置する

必要な物を準備する	13
映像確認をする	14
カメラを設置する	15
microSDカードを挿入する	17
外付けハードディスクを接続する	18
テレビに接続する	19

初期設定

メニュー画面を表示する	20
フリッカー防止の設定をする	21
日時を設定する	22
録画する時間帯・録画の方法を設定する	23

操作する

モニター画面のアイコンについて	25
カメラの映像・音声を切換える	26
カメラの音量を調整する	27
録画したカメラの映像を見る	28

詳細設定

2台以上使用する場合	29
表示するカメラを選択する	30
映像解像度の設定	31
明るさの設定	32
モーション検知感度の設定	33
録画時間の設定	33
microSDカード外付けハードディスクの初期化	34
上書き録画の設定	35
パワーセーブの設定	36
表示言語の変更	37
初期値(工場出荷時の状態)に戻す	38
ソフトウェアアップデートをする	39
ネットワーク情報の確認・IP設定の変更	40
警報音の設定	41
警報音量の設定	42
警報音の繰返し間隔の設定	42

スマートフォンで映像を見る

スマートフォンの設定をする	43
表示内容と操作方法(iPhone/iPad)	46
録画した映像を再生する(iPhone/iPad)	48
表示内容と操作方法(Android)	49
録画した映像を再生する(Android)	51

必要とき

故障とお考えになる前に	52
お手入れとメンテナンスのご注意	53
別売品	53
規格表	54
保証書	56

●かんたん設定

カメラとモニターのACアダプターをACコンセントに差込んで、モニターの電源スイッチをONにするだけで、カメラ映像がモニター画面に表示されます。
モニター画面のメニュー操作だけで利用できます。

●フルハイビジョンカメラ(解像度1920H×1080V)

モニターの解像度は1024H×600Vとなります。

●防じん・防水(IP66)のワイヤレスカメラ

屋内はもちろん、屋外にも対応できます。
(完全防水ではありませんから、軒下など直接雨がかからない場所をお勧めします)

●夜間撮影対応

カメラに赤外線投光器を内蔵していますから夜間撮影も可能です。
(赤外線撮影により、白黒映像となり、明暗に差が出る場合があります)

●カメラを最大4台まで接続可能

カメラを最大4台まで接続してモニターに表示できます(4台同時録画可能)
当社製品 増設カメラ **WHC7M2-C**(別売品)をご利用ください。

●人感センサーによる、モーション検知カメラ

人感センサーが動くものを検知すると、モニターに挿入したmicroSDカード(市販品)やモニターに接続した外付けハードディスク(別売品)に録画したり、スマートフォン・タブレットに警報としてお知らせ(インターネット接続環境が必要)したりできます。

●7インチタッチパネル式液晶モニター

タッチパネルですから、操作が簡単です。(モニター解像度 1024H×600V)

●microSDカードレコーダー

モニターにmicroSDカード挿入口を搭載していますから、microSDカード(市販品)にカメラ映像を録画できます。また録画モードは、モーション検知、スケジュール、マニュアルから選択できます。(microSDカードは消耗品ですから定期的な交換をお勧めします)

●USB端子

モニターにUSB端子を搭載していますから、外付けハードディスクにカメラ映像を録画できます。(外付けハードディスクは当社製品 **WHC-HDD2TB**(別売品)をご利用ください)

●HDMIミニ端子

モニターにHDMIミニ端子を搭載していますから、テレビなど外部モニターにカメラ映像を映し出すことができます。(HDMIミニケーブル(市販品)は2m以下をご利用ください)

●充電式バッテリー内蔵のモニター

モニターは、充電式のバッテリーが内蔵されていますから、電波の届く範囲内で自由に移動できます。(モニターは非防水です)

●スマートフォン・タブレット対応

モニターが有線のネットワーク回線に接続されていれば、スマートフォン・タブレットでカメラ映像の閲覧ができます。[対応OS:iOS6.0以降、Android4.0以降(iOS10.3、Android6.0まで動作確認済み)]

●ソフトウェアアップデート

最新のソフトウェアが提供されている場合、ソフトウェアアップデートを行います。
モニターがインターネット回線に接続されていれば、新しいバージョンのソフトウェアを自動で検知します。

- 付属のACアダプターは、WHC7M2用です。WHC7M2以外に使用しないでください。また、他の機器のACアダプターをWHC7M2に使用しないでください。
- 付属のACアダプターの使用方法は、取扱説明書をご覧ください。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



禁止の行為を示しています。



行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。



警告



- 本機や付属品などを包装しているポリ袋、および、アンテナなどの細かい部品は、お子様の手の届く場所に放置しないでください。飲込むと窒息し、死亡の原因となります。
- ACアダプターは、コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、物や扉などで挟んだり、熱器具に近付けたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。コードが傷んだ場合（芯線の露出や断線など）、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの内部に、金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターは、風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
 - ・押入れ・本箱・天井裏など、風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする。
 - ・布や布団でおおったり、包んだりする。

⚠ 警告



- 本機やACアダプターを分解したり、改造したりしないでください。また、内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご連絡ください。
- ACアダプターに水をかけたり、濡らしたりしないでください。ACアダプターの上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。また、ペットなどの動物が、ACアダプターの上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で、ACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 雷が鳴出したら、ACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。
- 本機にホースなどで直接水をかけないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源(AC100V)を入れたまま配線工事をしないでください。感電の原因となります。
- 雷のときは配線工事をしないでください。火災・感電の原因となります。
- ACコードを延長するために、途中で切断して別のコードをつながないでください。電気設備技術基準で禁止されています。接続に不備があると、火災・感電の原因となります。



- 万一、ACアダプターの内部に、異物や水が入った場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 万一、ACアダプターを落としたり、破損したりした場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いや音ができるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプターをACコンセントから抜き、煙や臭いなくなるのを確認して販売店にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
- 本機はACコンセントの近くに置いて、ACアダプターが容易に取外しできるようにしてください。
- ACアダプターは、必ず本機にご使用ください。他の機器または他メーカーの製品と合わせて使用しないでください。また、他の機器のACアダプターを本機に使用しないでください。火災の原因となります。
- ACアダプターは、ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、ACアダプターは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。
- 本機を壁面に取付けて使用するときは、堅固・確実に取付けてください。不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁[石こうボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、ベニヤ板など]には取付けしないでください。落下により、けがの原因となります。

警告

- 配線工事は安全・確実に行なってください。誤った配線工事は、火災・感電・事故の原因となります。
- 電源配線工事には電気工事士の資格が必要です。販売店へご相談ください。
- ケーブルの接続時は、防水ボックス、防水ゴム、防水キャップ、自己融着テープで防水処理を行なってください。火災・感電の原因となります。
- 本機を壁面や天井に設置するときは、配線や配管を傷つけないように取付けてください。配線や配管などを傷つけると、火災・感電の原因となります。

注意

- 本機やACアダプターは、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本機やACアダプターは、温室やサンルームなどの、高温で湿度の高い所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ACアダプターをACコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACアダプター本体を持って抜いてください。
- 土中埋設配線する場合は、土中での接続はしないでください。絶縁劣化により、感電の原因となることがあります。

- 本機を移動させる場合、必ずACアダプターをACコンセントから抜いてください。コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れは、安全のため、必ずACアダプターをACコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。
- 長期間、使用しないときは、安全のため、必ずACアダプターをACコンセントから抜いてください。そのままにしておくと、火災の原因となることがあります。
- 雷の発生が予想されるときは、前もって、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。落雷によって、火災の原因となることがあります。
- 土中埋設する場合、ケーブルや配線材などは、電線管などを使用して防水処理をしてください。感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

- 本機を使用できるのは、日本国内のみです。海外では使用できません。
- 本機を分解・改造しないでください。分解・改造した場合は、保証対象外となります。本機が故障した場合、販売店に修理を依頼してください。
- 本機は、防犯を保証する機器ではありません。
ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 本機は、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して使用してください。
撮影された画像が、公になったり、使用されたりして、被写体のプライバシーや肖像権の侵害、画像の使用による損害が生じても、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 本機の故障、誤作動、接続機器の不具合などの原因により、microSDカードや外付けハードディスクなどへ、正常に録画できなかった場合の内容の補償、録画した内容の損失および直接・間接の損害に対して、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 本機は、microSDカードや外付けハードディスクなどへカメラ映像を録画できますが、カメラとモニターの通信状態により、録画が途切れたり、停止したりすることがあります。
- 本機は、インターネットに接続しなくてもご使用いただけますが、スマートフォン・タブレットで映像を見る場合、およびソフトウェアアップデートを行う場合には、インターネット環境が必要です。
- ADSL、ISDN、ダイヤルアップ回線や通信速度によってはご利用いただけません。
- 本機をインターネットに接続して使用する場合は、IPv4インターネット接続環境であることをご確認ください。IPv6インターネット接続環境には対応していません。インターネット接続環境はご契約のプロバイダーへご確認ください。
- スマートフォン・タブレットで映像を見る場合、パソコンサイトを閲覧する契約および通信料が必要になります。また、通信料が高額になる場合がありますから、ご契約の携帯電話会社にご確認ください。
- スマートフォン以外の携帯電話では、ご使用できません。
- スマートフォンなどのテザリングでは、ご使用できません。
- モバイルルーターでの接続はできません。
- 本機に磁石など磁気を持っているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて作動が不安定になることがあります。
- エアコンの室外機の風が直接当たる場所に設置しないでください。故障・誤作動の原因となります。
- カメラは軒下など、できるだけ雨、風や日光が直接当たらないところに設置してください。
- 高温・高湿となる場所で使用しないでください。故障の原因となります。
- ACアダプターを第2種環境(商業、軽工業、および工業用環境)の電源に接続しないでください。故障・誤作動の原因となります。
- 本機は、2.4GHz帯で通信する無線LANの電波に影響を与えたり、無線LANの電波から影響を受けたりすることがあります。
- 周囲温度0℃以下で使用した場合、レンズ部がくもったり、霜が付いたりすることがあります。
- センサーやカメラのレンズには手で触れないでください。故障の原因となります。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭取ってください。
- 塩害地域ではご使用できません。
- その他の、最新のご注意については、設置前に弊社技術相談までお問合せください。

無線電波についてのご注意

本機の無線電波の周波数帯は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、免許を要する工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用構内無線局や、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局で適用されています。

このため、電波の干渉による無線通信の障害を防止するため、以下の点にご注意ください。

- ・ 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万一、本機と他の無線局との間で有害な電波干渉が発生した場合、速やかに本機の使用場所を変えるか、無線LANの使用を停止してください。

本機の無線の電波について

2.4	: 2.4GHz 帯を使用周波数帯とする無線設備を表します。
FH	: FH方式(周波数ホッピング方式)変調であることを表します。
8	: 想定される干渉距離が80m以下を表します。
— — —	: 使用周波数帯の全帯域を使用し、他で運用されている周波数帯の回避が可能なことを表します。

不明な点、その他お困りのときは、技術相談まで、お問合わせください。

人感センサーによるモーション検知について

本機は、カメラの赤外線人感センサーにより、赤外線を検知して作動します。そのため、下記のような場合には、誰もいないのに検知することや逆に検知しないことがあります。故障ではありません。

誰もいないのに検知する場合(例)

- ・ 犬、猫、鳥などのペットや、炊飯器、電気ポットなどの蒸気を検知している。
- ・ カメラの前に動くものがある。
- ・ 直射日光など強い光が当たる場所に設置している。
- ・ エアコンの風が直接当たる場所にカメラを設置している。
- ・ 不安定な場所に設置している。

検知しない場合(例)

- ・ カメラの前に障害物がある。(障害物を取除いてください。)
- ・ カメラの周囲温度が高い。(周囲温度の低い場所に設置してください。)

モーション検知の特性

カメラを横切る動きは検知しやすく、カメラの正面から近づく動きは検知しにくくなります。

日時設定について

本機には時計機能があり、映像に日時を記録できます。

この時計機能は内部のクロックで作動しているため、月差約1分程度の誤差となりますから、定期的に正しい時刻に日時設定を行なってください。

microSDカードについて

モニターのmicroSDカード挿入口にmicroSDカードを挿入することで、カメラの映像を録画できます。

本機は、下記のmicroSD規格によるmicroSDカードが使用できます。

カードの種類	microSDHC/microSDXCメモリーカード(クラス10以上)
メモリ容量	最大256GB

- 上記規格を満たす、すべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- microSDカードは消耗品ですから定期的な交換をお勧めします。
- microSDカードを挿入するときは、モニターの電源をOFFにしてから行なってください。
- microSDカードを取出すときは、録画中でないことを確認してください。録画中にmicroSDカードを取出すとデータが破損することがあります。
- メモリ容量の大きいmicroSDカードが挿入されていると、モニターの電源をONにしてからモニターが起動するまでに、10秒以上かかることがあります。
- microSDカードは、不良セクタが発生する場合があります。その状態でデータの記録が繰り返されると、記録可能領域が異常となります。安定してご使用いただくため、2週間に一度、初期化することをお勧めします。

外付けハードディスクについて

モニターのUSB端子に外付けハードディスクを接続することで、カメラの映像を録画できます。

(外付けハードディスクは当社製品 **WHC-HDD2TB** (別売品)をご利用ください)

- 市販品の外付けハードディスクは、すべての動作を保証するものではありません。
- ハードディスクは、不良セクタが発生する場合があります。その状態でデータの記録が繰り返されると、記録可能領域が異常となります。安定してご使用いただくため、2週間に一度、初期化することをお勧めします。

必ずお読みください

本機を設置する前に、必ず動作確認を行なってください。

はじめに、移動できる場所でカメラの映像がモニター画面に表示されることを確認してください。

次に、設置場所近く的环境でもカメラの映像がモニター画面に表示されることを確認してください。

- 設置場所の環境によっては、他の機器の電波が妨害となったり、壁などの影響により電波が減衰したりして、正常に作動しないことがあります。

商標について

- iPhone、iPadは、Apple Inc.の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- GoogleおよびGoogleロゴ、Android™は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

本機の譲渡や廃棄をするときのご注意

本機の譲渡や廃棄をする場合、プライバシー情報の漏えいなどを防止するために、下記の点にご注意ください。

- 本機のシステム設定を初期化して、設定した情報を消去する。
[システム設定を初期化する方法は、p.38をご覧ください]
- 本機にmicroSDカードを挿入しているときは、microSDカードを取出す。

本機のモニターに内蔵されている充電式のバッテリーは、リサイクル可能です。この製品を廃棄する場合、排出する自治体のルールにしたがってください。

お客様自身で廃棄できない場合は、当社の技術相談にお問い合わせのうえ、送付ください。

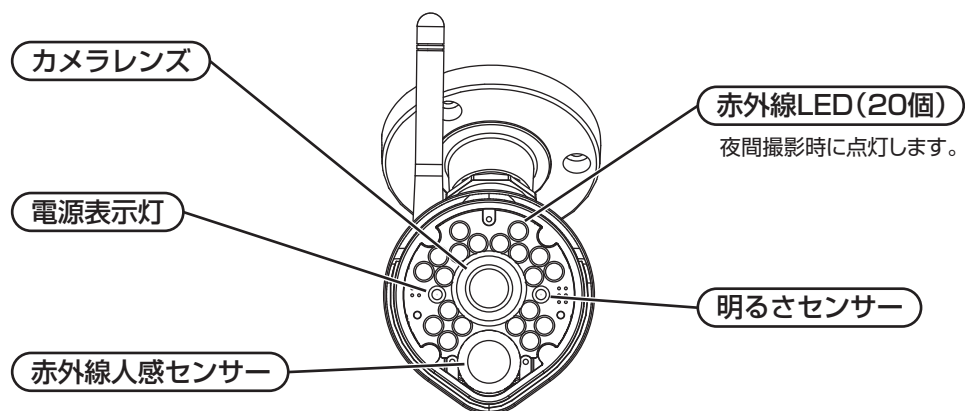
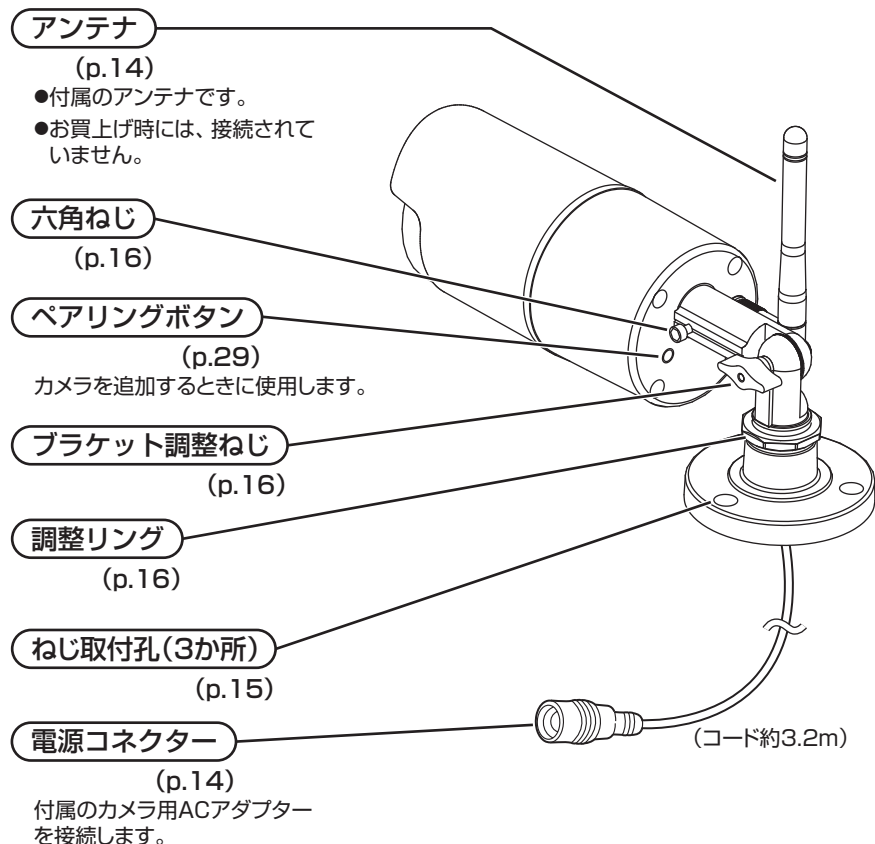
技術相談電話番号



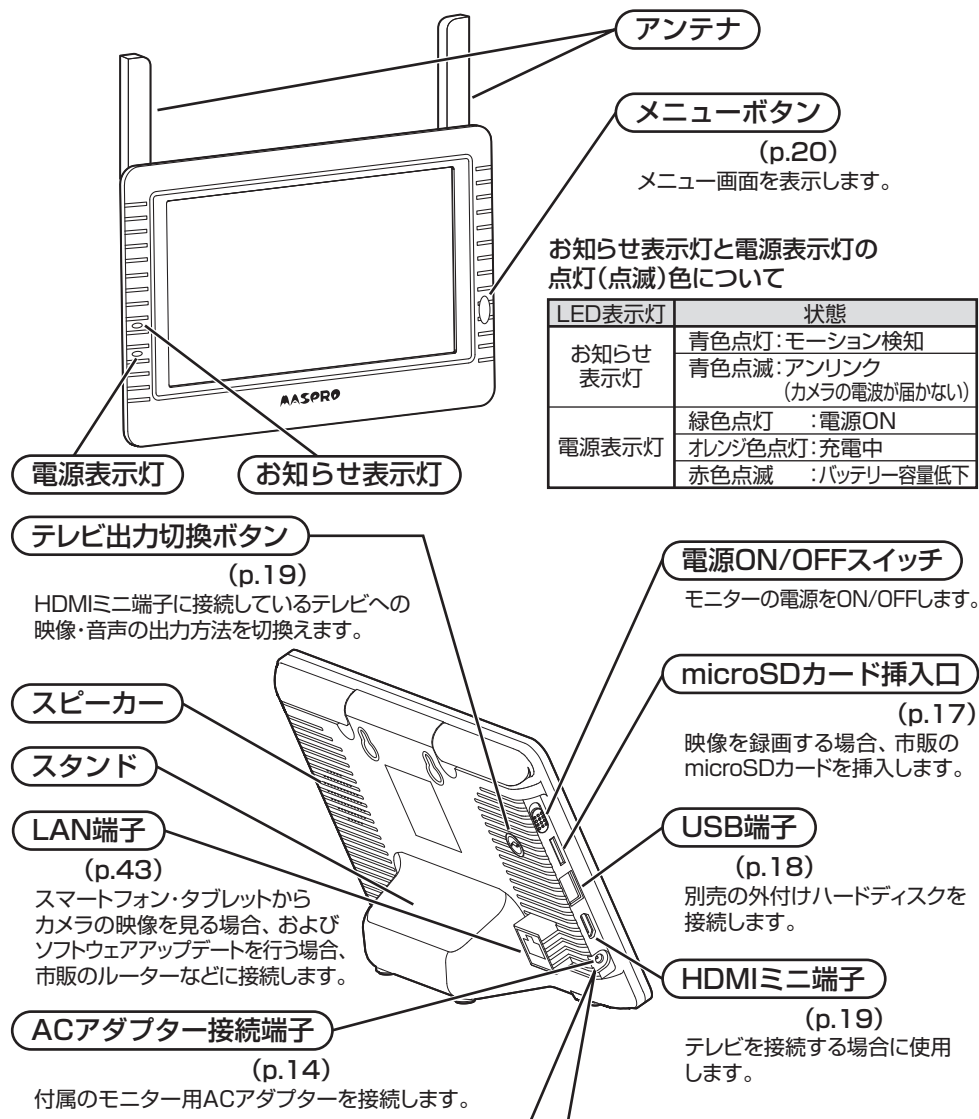
0570-091119

ナビダイヤル® 固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは **052-805-3366**
受付時間 9～12時、13～17時（土・日・祝日、当社休業日を除く）

カメラ

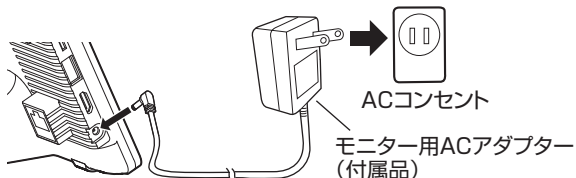


モニター



モニターの充電方法

ACアダプター接続端子に付属のモニター用ACアダプターを接続します。

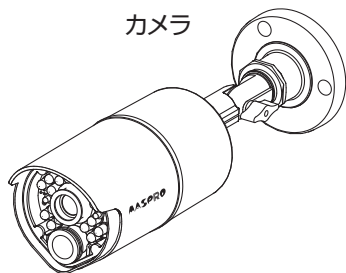


必要な物を準備する

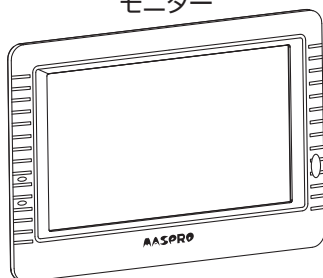
設置する

はじめに以下のものを準備します。

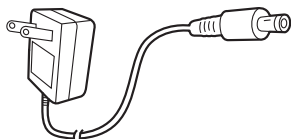
カメラ



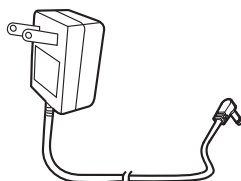
モニター



カメラ用ACアダプター
(コード約1.8m) (付属品)



モニター用ACアダプター
(コード約1.4m) (付属品)



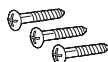
アンテナ
(付属品)



アンカー (3本)
(付属品)



ねじ (M4、3本)
(付属品)

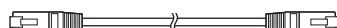


六角レンチ
(付属品)



LANケーブル (約1.5m) (付属品)

●スマートフォン・タブレットを使用してカメラ映像を見る場合、およびソフトウェアアップデートする場合に使用



使用方法によって、お客様で用意していただくもの

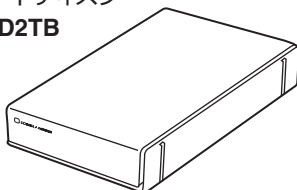
microSDカードを使用して
映像を録画する場合

microSDカード
(microSDHC/microSDXC)
(クラス10以上、容量:最大256GB)



外付けハードディスクを使用して
映像を録画する場合

外付けハードディスク
WHC-HDD2TB
(別売品)

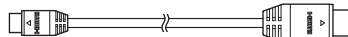


テレビを使用してカメラ映像を見る場合

テレビ
(HDMI1.4、1080i/720p入力
対応のテレビ・モニターなど)

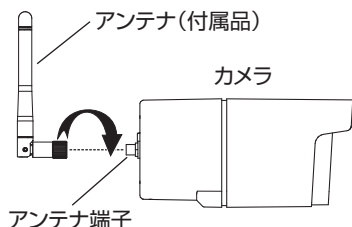


HDMIミニケーブル
(片端HDMIミニ端子用、片端HDMI端子用)
●HDMIミニケーブルは2m以下を使用
してください。



1. カメラの準備をする

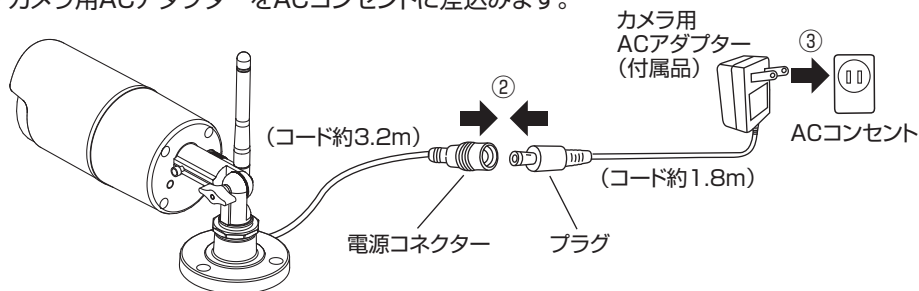
- ① カメラ背面のアンテナ端子に、付属のアンテナを接続します。
●アンテナを差込んで右に回します。



ご注意

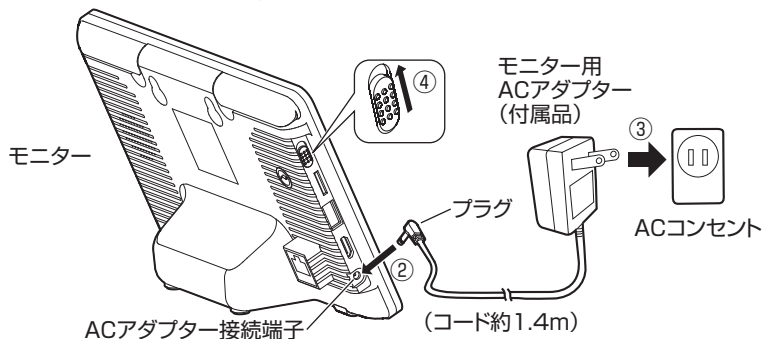
- アンテナは無理に曲げないでください。破損することがあります。
- アンテナが接続されていないと、モニターで映像を見ることができません。
- アンテナ端子の防水のため、アンテナはしっかりと締付けてください。

- ② カメラの電源コネクターと付属のカメラ用ACアダプターのプラグを接続します。
- ③ カメラ用ACアダプターをACコンセントに差込みます。



2. モニターの準備、映像確認をする

- ① モニター画面の保護フィルムをはがします。
- ② モニターのACアダプター接続端子に、付属のモニター用ACアダプターのプラグを接続します。
- ③ 付属のモニター用ACアダプターをACコンセントに差込みます。
- ④ モニターの電源をONにします。
- ⑤ モニター画面にカメラの映像が映っていることを確認します。



設置上のご注意

- 落下事故や製品故障、その他工事に関わる問題について、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- カメラの電源コネクタ、およびACアダプターは防水構造ではありません。**屋内に設置、またはコネクタ部を自己融着テープなどで防水処理をして設置してください。
- カメラを使用しなくなった場合は、必ず撤去してください。そのまま放置すると、落下によりけがの原因となることがあります。
- 増設用カメラを追加する場合、カメラの設置前に、ベアリング設定(p.29)することをお勧めします。

1. カメラの設置場所を決める

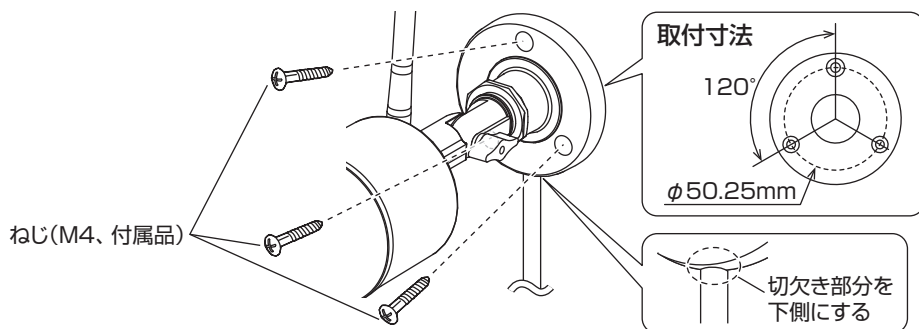
以下の点に留意し、本機の設置場所を決めてください。

- カメラを仮設置した後に、撮影範囲や動作を確認し、配線と設置を行なってください。
- カメラとモニターの通信距離は、見通しがよく他の電波の影響を受けない環境において、最大300mです。カメラとモニターの間に壁など(木造壁・床、金属製のドア、コンクリート、鉄骨、金属の障害物)がある場合には、電波が減衰して使用できる距離が短くなります。(木造建築の場合、**10～40m**が目安となります。コンクリートの壁面をまったく場合、使用できません。)良好に利用できる電波の強さは、モニター画面(p.25参照)で  (3本以上)が目安になります。
- カメラを2台以上使用する場合、カメラ同士3m以上の間隔をあけて設置してください。
- カメラをセンサーライトの近く(目安距離:5m)に設置しないでください。夜間にセンサーライトの光が照らされると、カメラに搭載している照度センサーが反応し、暗視撮影できなくなります。
- 2セット以上を同一場所に設置することはできません。
- カメラは、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して設置してください。

2. カメラを壁面に取付ける

付属のねじ(3本)でカメラを壁面にしっかりと取付けます。

- 壁面の材質がモルタルやコンクリートの場合は、p.16をご覧ください。

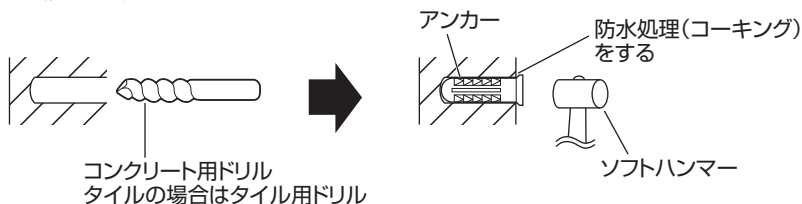
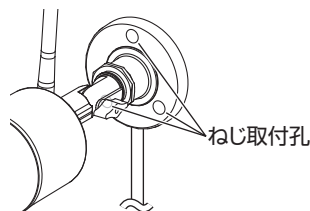


⚠ 警告

- 不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁[石こうボード、コンクリートブロック、ALC(軽量気泡コンクリート)、ベニヤ板など]には取付けしないでください。また、カメラを取付けても十分に支えられる壁面にしっかりと取付けてください。落下によりけがの原因となります。
- 壁面内の配線や配管を傷つけないように取付けてください。ねじなどで、配線や配管を傷つけると、火災・感電の原因となります。

壁面の材質がモルタルやコンクリートの場合

- ① カメラを設置したい位置に合わせ、ねじ取付孔から印を付けます。
- ② 印に合わせて下図のようにドリル(φ6.4mm)で穴を開け、アンカーを差込み、ソフトハンマーなどで軽くたたきます。
●アンカーは壁面に挿入したら、コーキングしてください。



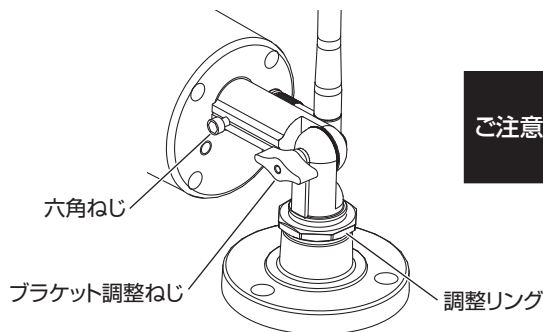
- ③ 前ページの図のように、付属のねじ(3本)で壁面に取付けます。

ご注意

- 工事は販売店もしくは施工業者に依頼することをお勧めします。壁への穴開け工事について、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- モルタル塗壁の場合は、穴開けにより、古い壁が落ちることがありますから、注意して穴開けをしてください。

3. カメラの角度を調整する

- ① カメラとモニターの電源を入れます。
- ② モニターで映像を確認しながら、六角ねじ、ブラケット調整ねじ、調整リングをゆるめて、カメラの角度を調整します。
●六角ねじは、付属の六角レンチを使用してゆるめます。
- ③ 角度を調整後、六角ねじ、ブラケット調整ねじ、調整リングをしっかりと締付けます。



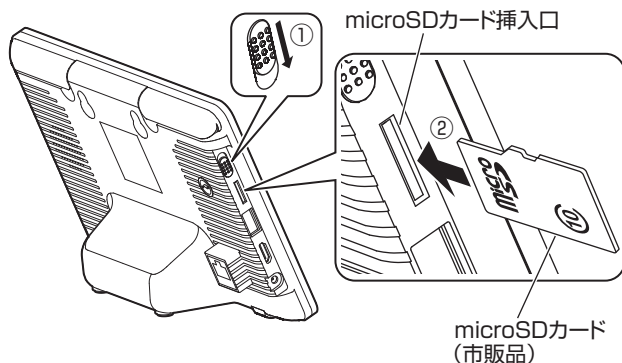
ご注意

カメラを回転させるときは、ケーブルのねじれに注意してください。

microSDカードを挿入する

設置する

- 市販のmicroSDカードに撮影した映像を保存できます。
[外付けハードディスクを接続している場合(p.18)、外付けハードディスクへの録画を優先して行います]
 - 映像を録画しない場合、microSDカードは必要ありません。
 - microSDカードについては、「microSDカードについて」(p.9)をご覧ください。
 - microSDカードは初期化(p.34)を行ってから使用してください。
- ① モニターの電源をOFFにします。
 - ② microSDカードをmicroSDカード挿入口に図のように挿入します。
●ロゴ表示面をモニター背面側にして挿入してください。
 - ③ 「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込みます。
 - ④ モニターの電源をONにします。[画面に  アイコン(p.25参照)が出ていることを確認します]
●microSDカードを認識しない場合、モニターの電源をOFFにしてmicroSDカードを抜き、再度、挿入してください。
●初期化していないmicroSDカードを挿入した場合、初期化画面(p.34)が表示されます。
✓をタップして初期化を行ってください。



ご注意

microSDカードを
取出すときは、録画
を停止し、モニター
の電源をOFFにして
から行ってください。

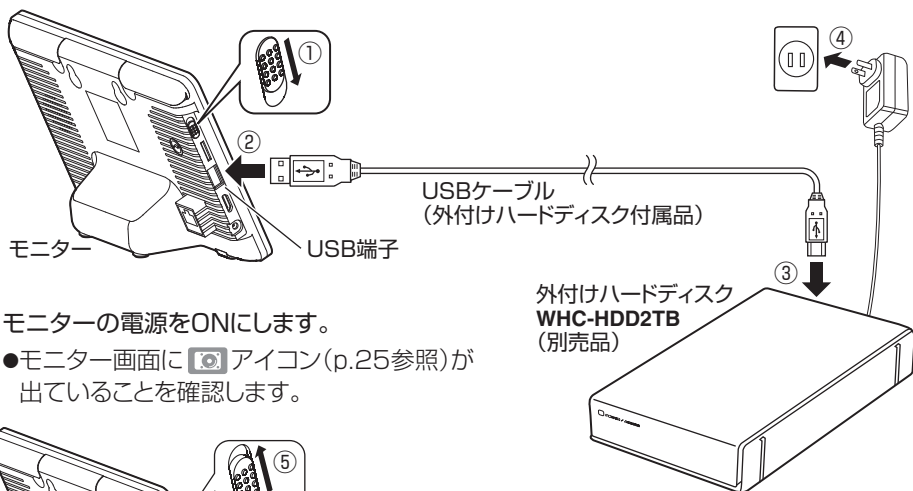
録画時間の目安

同時録画 カメラ数	画質	microSDカード容量						
		256GB	200GB	128GB	64GB	32GB	16GB	8GB
1台	HD	280時間	218時間	139時間	69時間	34時間	17時間	8時間
	Full HD	181時間	141時間	90時間	45時間	22時間	11時間	5時間
2台	HD	130時間	102時間	65時間	32時間	16時間	8時間	4時間
	Full HD	83時間	65時間	41時間	20時間	10時間	5時間	2時間
3台	HD	90時間	70時間	45時間	22時間	11時間	5時間	2時間
	Full HD	66時間	51時間	33時間	16時間	8時間	4時間	2時間
4台	HD	74時間	58時間	37時間	18時間	9時間	4時間	2時間
	Full HD	60時間	47時間	30時間	15時間	7時間	3時間	1時間

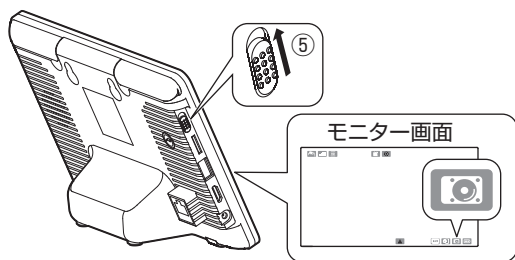
外付けハードディスクを接続する 設置する

- 外付けハードディスク WHC-HDD2TB(別売品)に撮影した映像を保存できます。
- 映像を録画しない場合、外付けハードディスクは必要ありません。
- 外付けハードディスクについては、「外付けハードディスクについて」(p.9)をご覧ください。
- 外付けハードディスクは初期化(p.34)を行ってから使用してください。

- ① モニターの電源をOFFにします。
- ② モニターのUSB端子に、外付けハードディスクに付属のUSBケーブルを接続します。
- ③ USBケーブルを外付けハードディスクに接続します。
- ④ 外付けハードディスクの電源をONにします。
 - 外付けハードディスクの操作方法について、詳しくは、外付けハードディスクの取扱説明書をご覧ください。
 - 初期化していない外付けハードディスクを接続した場合、初期化画面(p.34)が表示されます。
✓をタップして初期化を行ってください。



- ⑤ モニターの電源をONにします。
 - モニター画面に アイコン(p.25参照)が出ていることを確認します。



ご注意

外付けハードディスクを取外すときは、 アイコンをタップして、安全に取外しできる状態にしてから行ってください。

録画時間の目安

同時録画 カメラ数	画質	ハードディスク容量
		2TB
1台	HD	2000時間
	Full HD	1300時間
2台	HD	1020時間
	Full HD	650時間

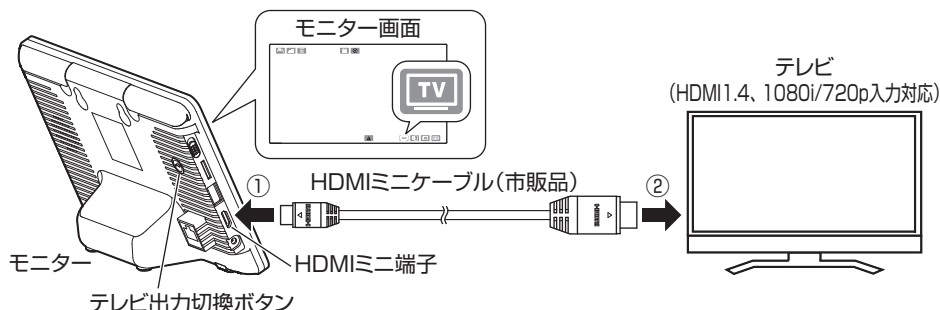
同時録画 カメラ数	画質	ハードディスク容量
		2TB
3台	HD	700時間
	Full HD	510時間
4台	HD	540時間
	Full HD	440時間

テレビに接続する

設置する

- モニターにテレビを接続することで、カメラ映像・音声をテレビで見ることができます。
- テレビに映像・音声を出力すると、モニターからカメラ映像・音声は出力されません。

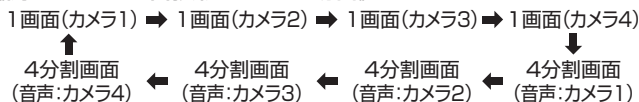
- ① モニターのHDMIミニ端子に、市販のHDMIミニケーブルを接続します。
- ② HDMIミニケーブルをテレビに接続します。
 - モニター画面に **TV** アイコン(p.25参照)が表示されます。
 - HDMIミニケーブルは2m以下を使用してください。



カメラ映像をテレビで見る

- ① モニター画面の **TV** アイコンをタップします。
 - モニターの表示が消え、テレビにカメラの映像・音声は出力されます。
- ② モニターのテレビ出力切替ボタンを押して、映像・音声の出力方法を切替えます。
 - 押すたびに、映像・音声は順に切替わります。

《例: カメラを4台接続している場合》



表示をテレビからモニターに切替える

- モニターの「メニューボタン」を押します。
- 表示がモニターに切替わります。

録画したカメラ映像をテレビで見る

- ① モニターで録画ファイルを再生します。(p.28)
- ② モニター画面の **TV** アイコンをタップします。
 - テレビに再生画面が表示されます。
 - 再生を停止する場合は、表示をモニターに切替え(上記参照)、停止操作を行います。

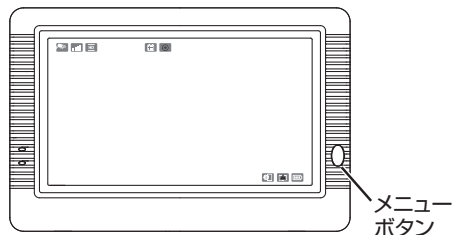
テレビで表示中にマニュアル録画(p.24)する場合

- モニターの「メニューボタン」を押し、表示をモニターに切替え、録画操作を行います。

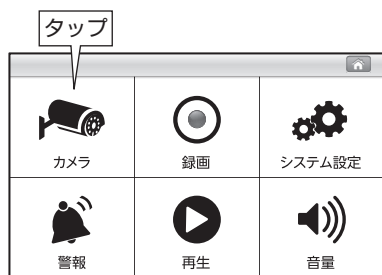
メニュー画面を表示する

初期設定

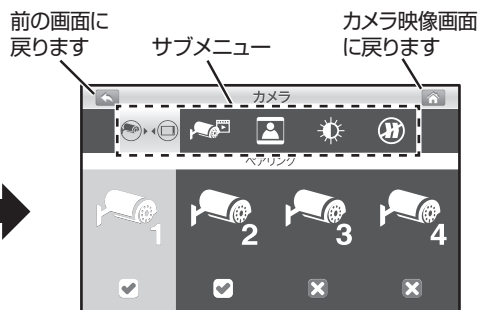
- ① モニターの「メニューボタン」を押す
 - メニュー画面が表示されます。
 - メニュー画面表示後、なにも操作しないと、1分後にカメラ映像画面に戻ります。



- ② 設定する項目をタップする
 - 設定画面が表示されます。



メニュー画面



設定画面

メニュー一覧

サブメニュー



カメラ

カメラの設定を変更します。

- ペアリング ⇒ p.29
- カメラ選択 ⇒ p.30
- 解像度 ⇒ p.31
- 明るさ ⇒ p.32
- フリッカー防止 ⇒ p.21

サブメニュー



録画

録画に関する設定を変更します。

- モーション検知 ⇒ p.33
- 録画モード ⇒ p.23
- 録画時間 ⇒ p.33
- 録画管理 ⇒ p.34、p.35



システム設定

システムの設定を変更します。

- 日時設定 ⇒ p.22
- パワーセーブ ⇒ p.36
- 初期値 ⇒ p.38
- 言語 ⇒ p.37
- ソフトウェアアップデート ⇒ p.39
- ネットワーク ⇒ p.40



警報

警報音の設定を変更します。

- モーション警報 ⇒ p.41
- アンリンク警報 ⇒ p.41
- バッテリー残量低下警報 ⇒ p.41
- 警報音量 ⇒ p.42
- 繰返し間隔 ⇒ p.42



再生

⇒ p.28

録画した映像を再生します。



音量

⇒ p.27

カメラの音量を調整します。

フリッカー防止の設定をする

初期設定

ご利用の地域に合わせて、電源の周波数を設定します。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)

- ② 「カメラ」をタップする
●カメラ設定画面が表示されます。



メニュー画面

- ③  (フリッカー防止)をタップする

- ④ ご利用の地域の周波数をタップする
●確認画面が表示されます。

50Hz: 東日本
60Hz: 西日本



カメラ設定画面

- ⑤ 「✓」をタップする
●設定を保存します。

- ⑥  をタップする
●カメラ映像画面に戻ります。



モニター画面への表示、および録画映像に記録するための、日時を設定します。

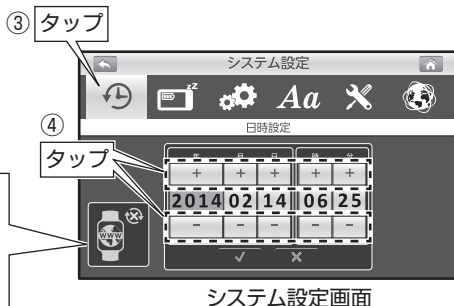
- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)
- ② 「システム設定」をタップする
●システム設定画面が表示されます。



メニュー画面

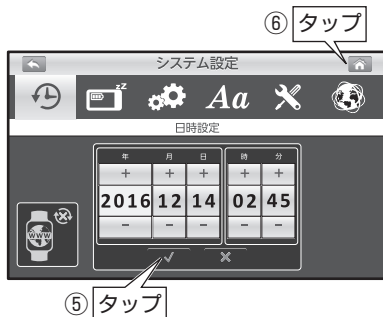
- ③  (日時設定)をタップする
- ④ 「+」と「-」をタップして
日付と時刻を設定する

モニターをインターネットに接続している場合、このアイコンをタップすると、自動でNTP（ネットワークタイムプロトコル）のタイムサーバーに同期して、時刻設定ができます。
●タップすると、手動での日時設定ができません。



システム設定画面

- ⑤ 「✓」をタップする
●設定を保存します。
- ⑥  をタップする
●カメラ映像画面に戻ります。



ご注意

本機には時計機能があり、映像に日時を記録できます。内部クロックで動作しているため、月に約1分程度の誤差があります。定期的に正しい時刻に日時設定を行なってください。

録画する時間帯・録画の方法を設定する

初期設定

- 録画を行う、曜日、時間帯を設定します。
- 録画方法は、モーション検知録画(人感センサー検知時に録画)、スケジュール録画(常時録画)、マニュアル録画(手動録画)の3種類があります。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)

- ② 「録画」をタップする
●録画設定画面が表示されます。



メニュー画面

- ③  をタップする
●録画モード画面が表示されます。



録画設定画面

- ④ タップして、録画方法および録画を有効にする時間帯を設定する
●曜日、時間帯単位で録画方法の設定ができます。
●録画モード画面の操作方法については、次ページをご覧ください。



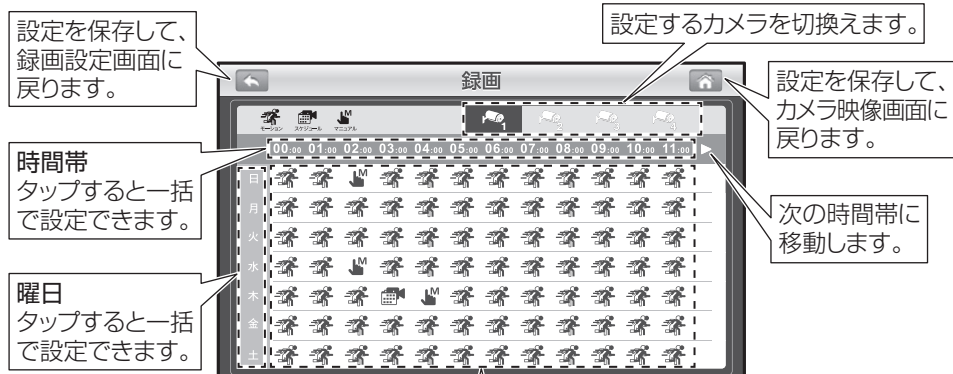
- ⑤  をタップする

- 設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

録画モード画面

以上で初期設定は終了です

《録画モード画面の操作方法》



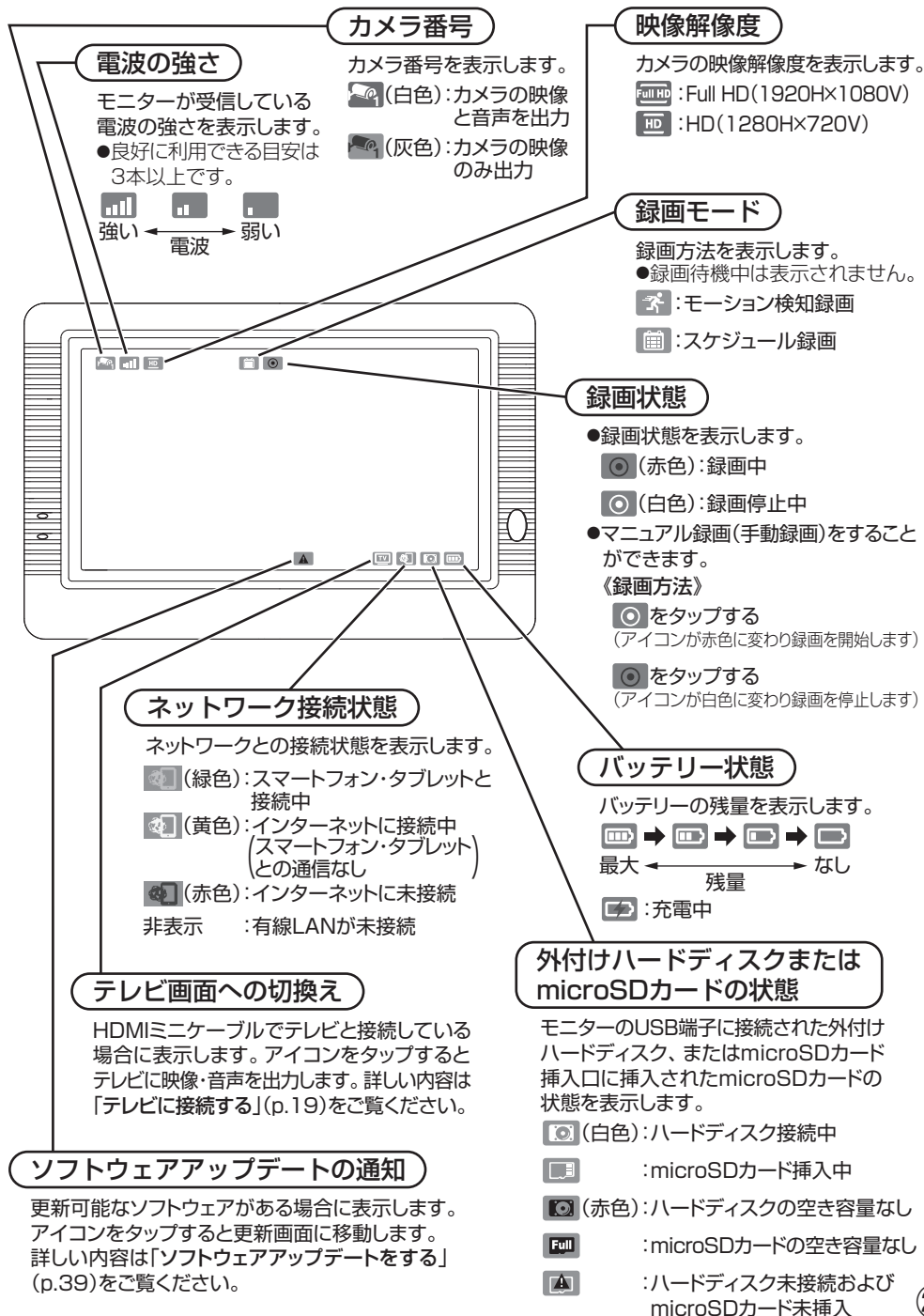
録画方法 タップするたびに録画方法が切り替わります

- モーション検知録画**：人感センサーで検知したときのみ録画します。
 - 録画モード画面(上記)で録画する時間帯を設定します。
 - 録画は最後のモーション検知から30秒後に停止します。
- スケジュール録画**：常に録画します。
 - 録画モード画面(上記)で録画する時間帯を設定します。
- マニュアル録画**：手動で録画します。
 - 録画方法
 1. モニター画面の (p.25参照) をタップする
(アイコンが赤色に変わり録画を開始します)
 2. をタップする
(アイコンが白色に変わり録画を停止します)

ご注意

- すべての曜日・時間帯をスケジュール録画に設定した場合、microSDカードを取出すとき、または外付けハードディスクを取外すときは、その時間帯の設定をマニュアル録画にして、録画を停止させてください。
- 録画中にモニターの電源をOFFにしないでください。データの損失や機器の故障の原因となります。
- モニターに、microSDカードを挿入し、外付けハードディスクを接続している場合、外付けハードディスクへの録画を優先して行います。

モニター画面のアイコンについて 操作する



カメラ映像の切換え

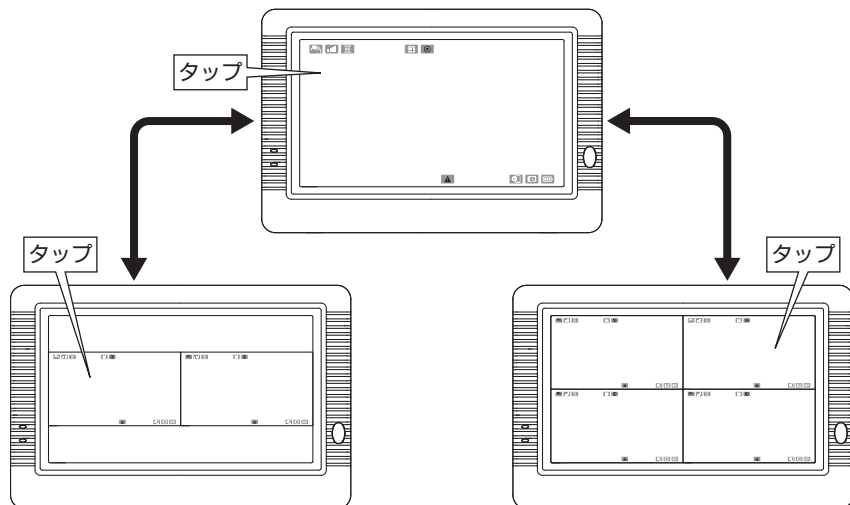
カメラを2台以上接続している場合、画面を分割して表示できます。

ご注意

カメラ選択の設定を変更しないと、カメラを2台以上接続していても分割表示できません。分割表示する場合は、「表示するカメラを選択する」(p.30)を行なってください。

モニター画面をタップします。

●タップするたびに画面表示が切替わります。



2分割画面

●カメラを2台接続している場合

4分割画面

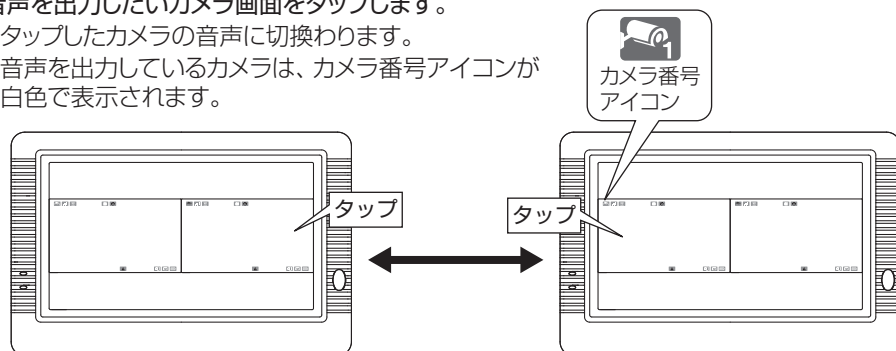
●カメラを3台または4台接続している場合

カメラ音声の切換え

画面を分割表示しているとき、音声を出力するカメラを切替えます。

音声を出力したいカメラ画面をタップします。

- タップしたカメラの音声に切替わります。
- 音声を出力しているカメラは、カメラ番号アイコンが白色で表示されます。



カメラの音量を調整する

操作する

モニターから出す音量を調整します。

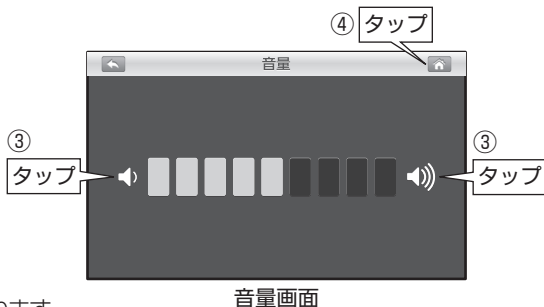
- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)

- ② 「音量」をタップする
●音量画面が表示されます。



- ③ 音量アイコンまたは音量スライダーをタップして
音量を調整する

音量アイコン : 音量が小さくなります
音量スライダー : 音量が大きくなります



- ④ ホームボタンをタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

ご注意

- カメラとモニターが近くに設置されていたり、音量が大きかったりすると、ハウリング現象が起こりやすくなります。カメラとモニターを離したり、音量を下げたりして、ハウリング現象が起こらないようにしてください。
- 音量を最小にするとOFFになりますが、警報音の音量は変わりません。警報音量の設定については、「警報音量の設定」(p.42)をご覧ください。

録画したカメラの映像を見る

操作する

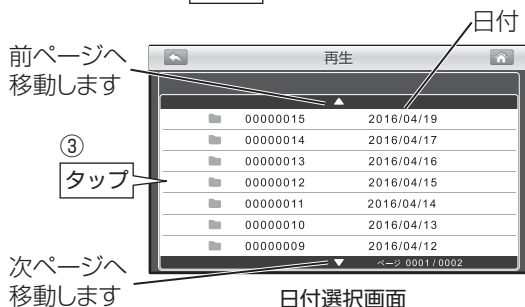
- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)

- ② 「再生」をタップする
●日付選択画面が表示されます。



② タップ メニュー画面

- ③ 再生したい日付をタップする
●時刻選択画面が表示されます。



日付選択画面

- ④ 再生したい録画ファイルをタップする
●再生画面が表示されます。



- ⑤ ▶ をタップする
●録画ファイルを再生します。



2台以上使用する場合

詳細設定

- カメラを追加する場合、カメラとモニターのペアリング設定をします。
- カメラの設置前に、ペアリング設定することをお勧めします。

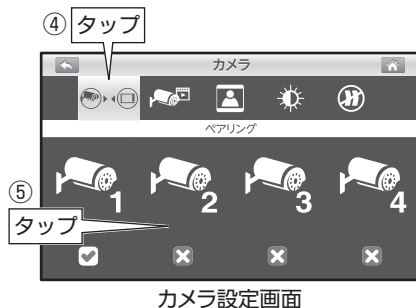
ご注意

増設カメラは、当社製品WHC7M2-Cをご利用ください。
当社製品WHC7M-C、WHCHD-CIは、本機の増設に対応していません。
対応しているカメラの最新情報は、当社ホームページをご覧ください。

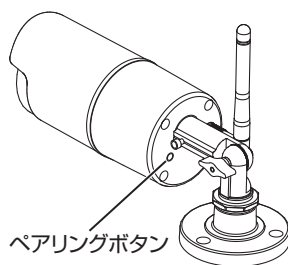
- ① 追加するカメラの電源を入れる
 - ACアダプターをACコンセントに差込みます(p.14)
- ② モニターの「メニューボタン」を押しメニュー画面を表示する(p.20)
- ③ 「カメラ」をタップする
 - カメラ設定画面が表示されます。



- ④  (ペアリング)をタップする
- ⑤ 登録したいカメラ番号をタップする
 - 2台目を登録する場合、「2」をタップします。
 - の表示がに変わります。



- ⑥ 30秒以内にカメラの「ペアリングボタン」をペン先や、つまようじなどで押す
 - カメラ前面の電源表示灯が点滅します。



- ⑦ 設定が成功すると、カメラ映像が表示されます
 - 設定が失敗するとが表示されます。
 - 再度、設定をやり直してください。

ご注意

●カメラ選択の設定を変更しないと、モニターでカメラ映像を表示できません。
「表示するカメラを選択する」(p.30)の設定を変更してください。
●すでにペアリング済のカメラ番号をタップしてペアリングすると、前のカメラ番号のペアリングが消えます。

表示するカメラを選択する

詳細設定

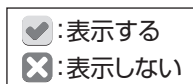
- 複数のカメラを登録しているときに、表示するカメラを選択します。
- 2台以上選択すると、画面を分割してモニターに表示することもできます。(p.26)

- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)

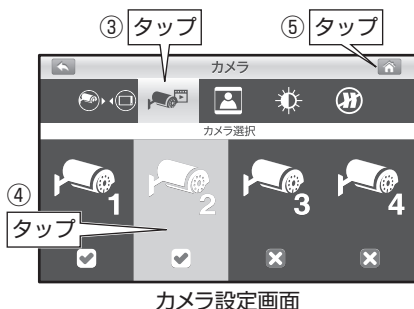
- ② 「カメラ」をタップする
●カメラ設定画面が表示されます。



- ③  (カメラ選択)をタップする
- ④ 表示するカメラ番号(1 ~ 4)をタップする
●タップするたびに 、 が切り替わります。



- ⑤  をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



カメラの映像解像度をカメラごとに設定できます。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)

- ② 「カメラ」をタップする
●カメラ設定画面が表示されます。

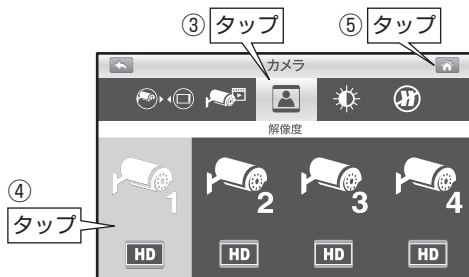


メニュー画面

- ③  (解像度) をタップする

- ④ 設定するカメラ番号(1 ~ 4)をタップする
●タップするたびに「HD」、「Full HD」が
切り替わります。

HD	: 1280H×720V
Full HD	: 1920H×1080V



カメラ設定画面

- ⑤  をタップする

●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

カメラ映像の明るさをカメラごとに設定できます。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)

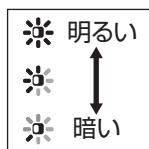
- ② 「カメラ」をタップする
●カメラ設定画面が表示されます。



メニュー画面

- ③  (明るさ)をタップする

- ④ 設定するカメラ番号(1 ~ 4)をタップする
●タップするたびに明るさが、
8段階で切り替わります。



カメラ設定画面

- ⑤  をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

モーション検知感度の設定

モーション検知録画するときの検知感度を設定します。

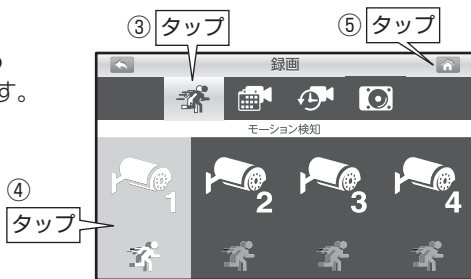
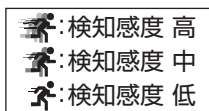
- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)

- ② 「録画」をタップする
●録画設定画面が表示されます。



メニュー画面

- ③ (モーション検知)をタップする
- ④ 設定するカメラ番号(1 ~ 4)をタップする
●タップするたびに検知感度が切り替わります。



録画設定画面

- ⑤ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

録画時間の設定

録画ファイルを何分単位で分割して保存するかを設定します。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)

- ② 「録画」をタップする
●録画設定画面が表示されます。



メニュー画面

- ③ (録画時間)をタップする
- ④ 設定する録画時間(5分、10分、15分)を
タップする

- ⑤ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



録画設定画面

ご注意

- 録画は最後のモーション検知から30秒後に停止します。
- モーション検知が連続した場合、5分、10分、または15分の録画ファイルに分割して保存されます。

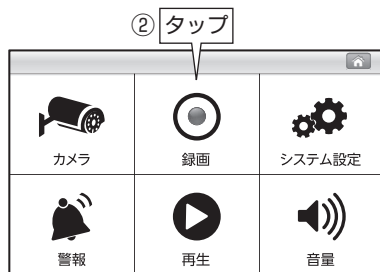
モニターに挿入されているmicroSDカード、またはモニターに接続している外付けハードディスクを初期化(フォーマット)します。

ご注意

モニターに、microSDカードを挿入し、外付けハードディスクを接続している場合、外付けハードディスクの初期化を優先して行います。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)

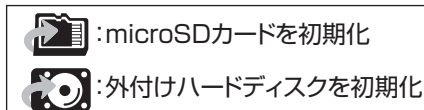
- ② 「録画」をタップする
●録画設定画面が表示されます。



メニュー画面

- ③ または (録画管理) をタップする

- ④ 「初期化」をタップする
●初期化画面が表示されます。



録画設定画面

- ⑤ をタップする
●初期化を開始します。
●初期化には10分程度かかることがあります。

: 初期化を開始
 : 初期化を中止



初期化画面

- ⑥ 初期化が終了したら、 をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。
●初期化に失敗した場合、再度、④の手順からやり直してください。

録画に使用しているmicroSDカード、または外付けハードディスクの空き容量がなくなったときに、録画ファイルを上書き録画するか、上書き録画しないかを設定します。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)

- ② 「録画」をタップする
●録画設定画面が表示されます。



メニュー画面

- ③ 画面上部の「録画管理」アイコンまたは「録画」アイコンをタップする

- ④ 画面右側をタップして、上書き録画の設定
を変更する
●タップするたびに「上書き録画する」、
「上書き録画しない」が切り替わります。



録画設定画面

上書き録画する :microSDカード、または外付けハードディスクの
空き容量がなくなったときに、日付の古いデータを
消去しながら、新しいデータを記録します。
上書き録画しない:microSDカード、または外付けハードディスクの
空き容量がなくなると録画を停止します。

- 画面に表示している項目で設定されます。

- ⑤ ホームアイコンをタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

一定時間操作していないとき、設定した時間後に、モニターの表示を自動的にOFFにします。

パワーセーブ機能が作動したときは、モニター画面をタップして表示してください。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)

- ② 「システム設定」をタップする
●システム設定画面が表示されます。

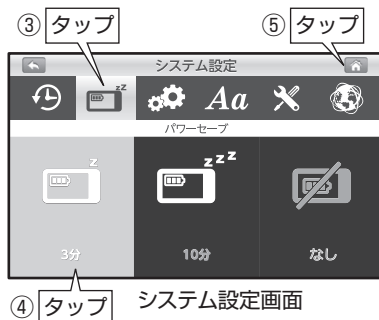


- ③  (パワーセーブ)をタップする

- ④ 設定する時間をタップする

3分 : 3分後にモニター OFF
10分 : 10分後にモニター OFF
なし : パワーセーブ機能は作動しません

- ⑤  をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



ご注意

- パワーセーブ機能が作動して、モニター表示がOFFになっても、録画は継続して行われます。
- モーション検知録画設定時に、人感センサーで動くものを検知しても、パワーセーブ機能の作動中は、モニター表示はONになりません。

モニターに表示する言語を変更します。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)
- ② 「システム設定」をタップする
●システム設定画面が表示されます。



- ③ **Aa** (言語)をタップする
- ④ 設定する言語をタップする

English : 英語
Español : スペイン語
日本語 : 日本語



- ⑤  をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

初期値(工場出荷時の状態)に戻す

詳細設定

- 設定を最初からやり直す場合、設定を初期値(工場出荷時の状態)に戻すことができます。
- 初期値に戻しても、ペアリング設定(p.29)、日時設定(p.22)、録画ファイルは、変更・削除されません。

ご注意

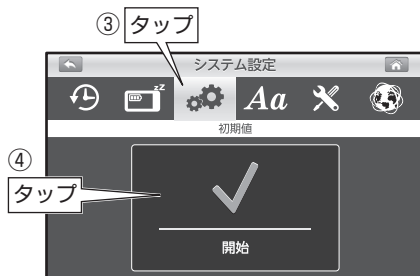
カメラを2台以上使用する場合、カメラ選択の設定を変更しないと、すべてのカメラ映像を表示できません。「表示するカメラを選択する」(p.30)の設定を変更してください。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)
- ② 「システム設定」をタップする
●システム設定画面が表示されます。



メニュー画面

- ③  (初期値)をタップする
- ④  (開始)をタップする
●確認画面が表示されます。



システム設定画面

- ⑤  をタップする
●初期化を開始します。
●初期化が完了すると、システム設定画面に戻ります。

✓: 初期化を開始
✗: 初期化を中止



確認画面

- ⑥  をタップする
●カメラ映像画面に戻ります。



ソフトウェアアップデートをする

詳細設定

- 最新のソフトウェアが提供されている場合、ソフトウェアアップデートを行います。
- モニターがインターネット回線に接続されていれば、新しいバージョンのソフトウェアを自動で検知します。[モニター画面に  のアイコンが表示されます(p.25)]

ご注意

- アップデート中は、本機の操作をしたり、電源をOFFにしたりしないでください。モニター故障の原因となります。
- アップデートには時間がかかる場合があります。バッテリー電源ではなく、ACアダプターを接続して、アップデートを行なってください。
- 録画中の場合、録画を停止してからアップデートを行なってください。
- IPv6インターネット接続には対応していません。

- ① モニターをインターネット回線に接続する
(p.43)

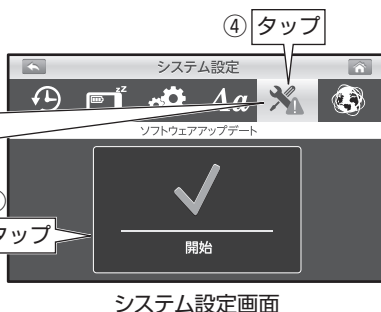
- ② モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)

- ③ 「システム設定」をタップする
●システム設定画面が表示されます。



- ④  (ソフトウェアアップデート)をタップする

-  :最新のソフトウェアが提供されている場合
-  :現在のソフトウェアが最新の場合



- ⑤  (開始)をタップする
- アップデートを開始します。
 - アップデートには数分かかります。
 - アップデートが完了すると、自動で再起動します。

- ⑥ 上記①～④を行い、右記表示になっていることを確認する

- ⑦  をタップする
●カメラ映像画面に戻ります。



ネットワーク情報の確認をしたり、手動でIPアドレスの設定をしたりすることができます。

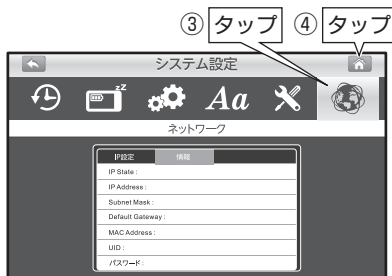
ネットワーク情報の確認

- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)
- ② 「システム設定」をタップする
●システム設定画面が表示されます。



メニュー画面

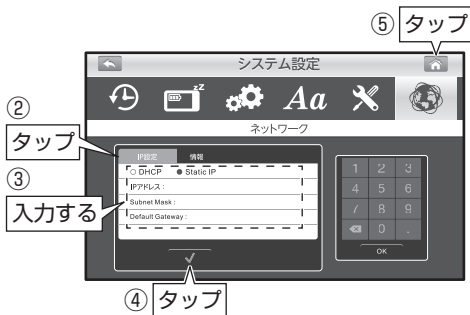
- ③  (ネットワーク)をタップする
●ネットワーク情報が表示されます。
- ④  をタップする
●カメラ映像画面に戻ります。



システム設定画面

IP設定の変更

- ① 上記①～③を行う
- ② 「IP設定」をタップする
●初期値は「DHCP」でインターネット回線のルーターから割り振られたIPアドレスになっています。
●通常は「DHCP」のままにしてください。
- ③ 固定IPアドレスで使用する場合、
「Static IP」をタップし、各項目を入力する



DHCP	: DHCPを使用する場合に選択します (初期値)
Static IP	: 固定IPアドレスで使用する場合に選択します
IPアドレス	: IPアドレスを設定します
Subnet Mask	: サブネットマスクを設定します
Default Gateway	: デフォルトゲートウェイを設定します

- ④  をタップする
●設定を保存します。
- ⑤  をタップする
●カメラ映像画面に戻ります。

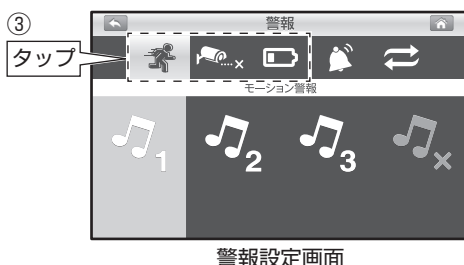
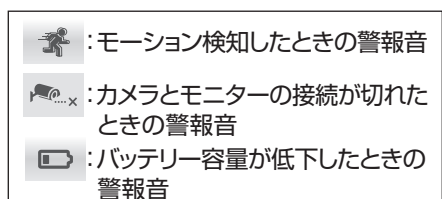
モーション検知したとき、カメラとモニターの接続が切れたとき、およびバッテリー容量が低下したときの警報音をそれぞれ設定します。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)

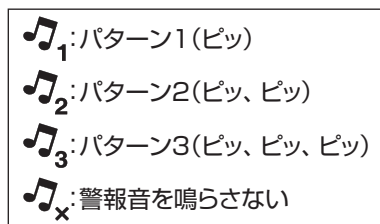
- ② 「警報」をタップする
●警報設定画面が表示されます。



- ③ 設定する警報の種類をタップする



- ④ 設定する警報音(1～3またはX)をタップする



- ⑤  をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

警報音の停止方法

- 警報音を止めるには、モニター画面をタップするか、メニューボタンを押してください。
- 「パワーセーブの設定」(p.36)を「3分」または「10分」に設定している場合、パワーセーブ機能の作動中は、警報音が鳴っても、モニター表示はONになりません。

警報音量の設定

カメラの警報音量を設定します。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)
- ② 「警報」をタップする
●警報設定画面が表示されます。
- ③  (警報音量)をタップする
- ④ 設定する警報音量をタップする



- ⑤  をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



メニュー画面



警報設定画面

警報音の繰返し間隔の設定

警報の繰返し間隔を設定します。

- ① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.20)
- ② 「警報」をタップする
●警報設定画面が表示されます。
- ③  (繰返し間隔)をタップする
- ④ 設定する繰返し間隔(15秒、30秒、1分)を
タップする
- ⑤  をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



メニュー画面



警報設定画面

警報音の停止方法

警報音を止めるには、モニター画面をタップするか、メニューボタンを押してください。

スマートフォンの設定をする

スマートフォンで
映像を見る

モニターをネットワークに接続することで、スマートフォン・タブレットから、カメラの映像を見ることができます。

ご注意

- 同時に4台まで接続できますが、ネットワーク環境により、カメラ映像の画質が落ちたり、接続できなくなったりすることがあります。
- IPv6インターネット接続には対応していません。

設定の前に

この機能を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

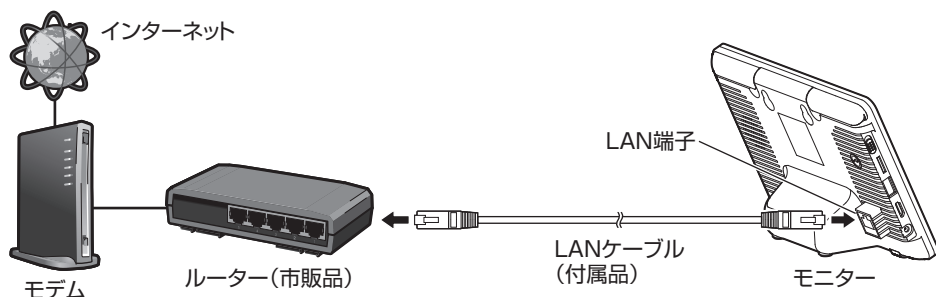
1. インターネット回線に接続する

モニター背面のLAN端子とルーターを付属のLANケーブルで接続します。

- 無線LANでの接続はできません。

接続例

接続する環境により、接続方法は異なります。



ご注意

無線LANルーターを使用している場合、他のWi-Fi機器と電波干渉することがあります。本機とWi-Fi機器はできるだけ離して使用してください。

2. アプリをインストールする

iPhone/iPadの場合

App Storeから「iHomeCam」を検索し、インストールする

- iPadで検索する場合、iPhone用のアプリから検索してください。
- インストールが完了すると、アイコンがホーム画面に作成されます。



Androidの場合

Google playから「iHomeCam」を検索し、インストールする

- インストールが完了すると、アイコンがホーム画面に作成されます。

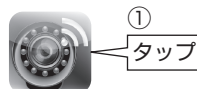


3. デバイスの追加をする

- スマートフォンのバージョンにより表示される画面が異なる場合があります。
- 追加できるデバイスは、最大4つまでになります。

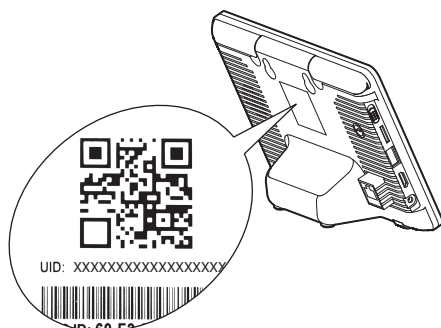
iPhone/iPadの場合

- ① 「iHomeCam」アプリのアイコンをタップする



- ② (デバイスの追加)をタップする

- ③ 「QRCode」をタップして
モニター背面にある「QRコード」を読み取る



QRコードが読取れない場合

「Add」をタップし、QRコードの下に記載してある「UID」を手動で入力してください。

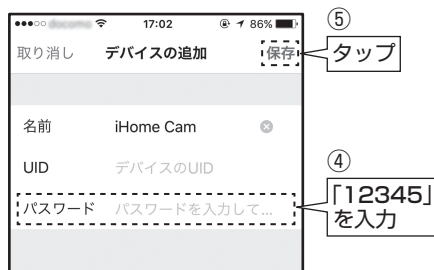


- ④ パスワードに「12345」(初期値)を入力する

- パスワードは、モニターのメニュー画面から確認できます。
- 「ネットワーク情報の確認」(p.40)をご覧ください。

- ⑤ 「保存」をタップする

- 「名前」の項目は、名称を変更することができます。



モーション検知時のiPhone・iPadへの通知について

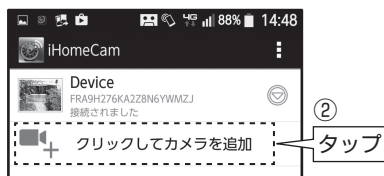
iPhone・iPadのホーム画面にある「設定」から、「iHomeCam」の通知設定を、ONまたはOFFに設定できます。

Androidの場合

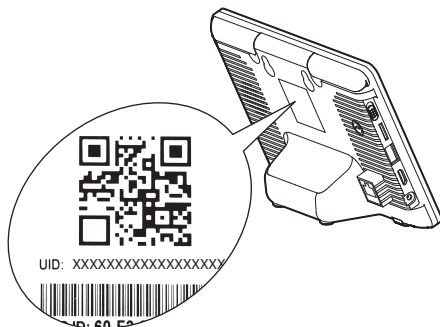
- ① 「iHomeCam」アプリのアイコンをタップする



- ② 「クリックしてカメラを追加」をタップする



- ③ 「スキャン」をタップして
モニター背面にある「QRコード」を読み取る



QRコードが読取れない場合

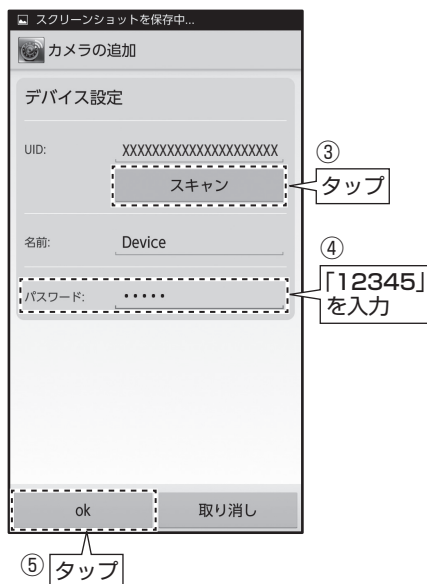
「UID」の欄に、QRコードの下に記載してある「UID」を手動で入力してください。

- ④ パスワードに「12345」(初期値)を入力する

- パスワードは、モニターのメニュー画面から確認できます。
「ネットワーク情報の確認」(p.40)をご覧ください。

- ⑤ 「OK」をタップする

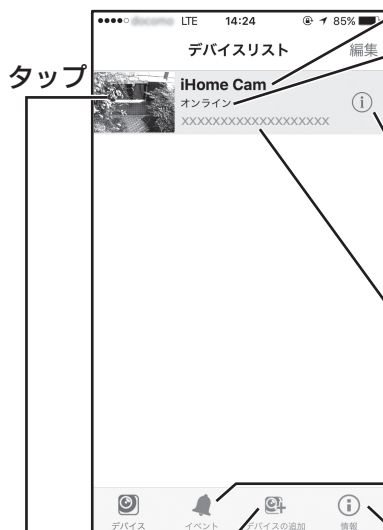
- 「名前」の項目は、名称を変更することができます。



モーション検知のスマートフォン・タブレットへの通知について

スマートフォン・タブレットのホーム画面にある「設定」から、「iHomeCam」の通知設定を、ONまたはOFFに設定できます。

《デバイスリスト画面》



デバイス名

カメラとの接続状態

「オンライン」: 接続済みです。カメラ映像を見られます。
「接続中です」: 接続中です。
「接続できませんでした」: カメラと接続されていません。
・①をタップし、「接続ステータス」をタップして、再接続してください。
「未知のデバイス」: インターネットに接続していません。
・LANケーブルの接続を確認してください。
・モニターの電源を入れ直してください。

デバイスの編集をする

タップすると、デバイスの編集画面(p.47)が表示され、名前の変更や詳細設定ができます。

UID(モニター背面に記載されている番号)

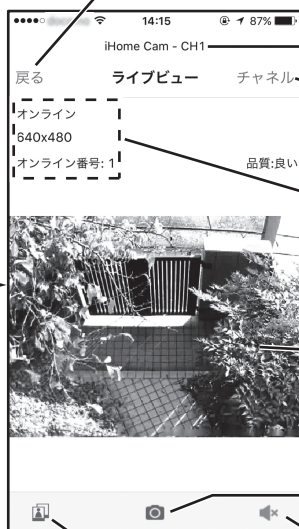
録画した映像を再生する

タップすると、イベント画面(p.48)が表示され、録画した映像を再生できます。

デバイスを追加する

アプリの情報を表示する

《ライブビュー画面》



デバイスリスト画面に戻る

デバイス名・カメラ番号

表示するカメラを切替える

複数のカメラを使用している場合、タップして映像を表示するカメラを切替えます。

カメラ情報

カメラとの接続状態、カメラの解像度、オンライン番号(接続中のスマートフォン・タブレットの数)を表示します。
●スマートフォン・タブレットは同時に4台まで接続できます。

カメラ映像

カメラが現在撮影している映像を表示します。
●カメラを2台以上接続していても、分割画面での表示はできません。

現在の画像を保存する

タップすると、画像(静止画)を保存します。

カメラの音声を聞く

タップするたびに「ON」、「OFF」が切り替わります。

保存した写真を見る

《デバイスの編集画面》デバイスリスト画面(p.46)で①(デバイスの編集)をタップすると、表示します。



デバイスリスト画面に戻る

名前を変更する
変更したい名前を入力します。

パスワード
パスワードの変更を行なった場合、変更後のパスワードを入力します。
●パスワードは、モニターのメニュー画面から確認できます。「ネットワーク情報の確認」(p.40)をご覧ください。

再接続する
カメラとの接続がオフラインのとき、タップして再接続します。

タップ

《詳細な設定画面》



パスワードの変更をする
パスワードを変更する場合、タップして変更します。
●パスワードは記号を含まない5～15桁の半角英数にしてください。
●変更したパスワードは、モニターのメニュー画面から確認できます。「ネットワーク情報の確認」(p.40)をご覧ください。

カメラの解像度を変更する
タップして、カメラの解像度を変更します。
●高:高画質、低フレームレート
中:標準画質、標準フレームレート
低:低画質、高フレームレート

アラーム(警報)間隔を変更する
タップして、アラーム(警報)の間隔を変更します。
アラーム(警報)を止めることもできます。

デバイス情報を見る
タップすると、デバイスの情報を見ることができます。

- ① デバイスリスト画面(p.46)で
🔔 (イベント)をタップする
●イベント画面が表示されます



- ② 再生したいデバイスをタップする
●イベントリスト画面が表示されます



- ③ 再生したい録画ファイルをタップする
●録画ファイルが再生されます



条件を絞り込んで検索する場合

「検索」をタップし、
検索条件をタップします。

●「カスタム」をタップすると
日時を指定できます。

ご注意

- 録画ファイルの再生は、映像のみで音声は再生されません。
- ネットワーク回線的环境によって、再生している映像がコマ送りになったり、遅延したりすることがあります。
- 録画ファイルの再生は、1台のスマートフォン・タブレットのみで行うことができます。同時に複数台での、録画ファイルの再生はできません。

《デバイスリスト画面》



デバイス名

メニュー画面

「カメラの追加」、「アプリの情報表示」、「終了(アプリの終了)」が行えます。

アドバンス(拡張)機能

「再接続」、「カメラの編集」(p.50)、「イベントの表示」(p.51)、「スナップショットの表示」、「カメラの削除」が行えます。

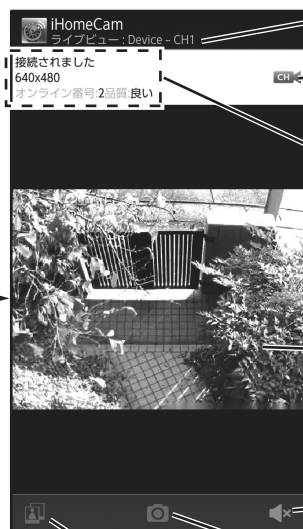
UID(モニター背面に記載されている番号)

カメラとの接続状態

「接続されました」: 接続済みです。カメラ映像を見られます。
「接続中です」: 接続中です。
「接続できませんでした」: カメラと接続されていません。
・(アドバンス機能)をタップし、「再接続」をタップして、再接続してください。
「未知のデバイス」: インターネットに接続していません。
・LANケーブルの接続を確認してください。
・モニターの電源を入れ直してください。

デバイスを追加する

《ライブビュー画面》



デバイス名・カメラ番号

表示するカメラを切替える

複数のカメラを使用している場合、タップして映像を表示するカメラを切替えます。

カメラ情報

カメラとの接続状態、カメラの解像度、オンライン番号(接続中のスマートフォン・タブレットの数)、接続品質を表示します。
●スマートフォン・タブレットは同時に4台まで接続できます。

カメラ映像

カメラが現在撮影している映像を表示します。
●カメラを2台以上接続していても、分割画面での表示はできません。

カメラの音声を聞く

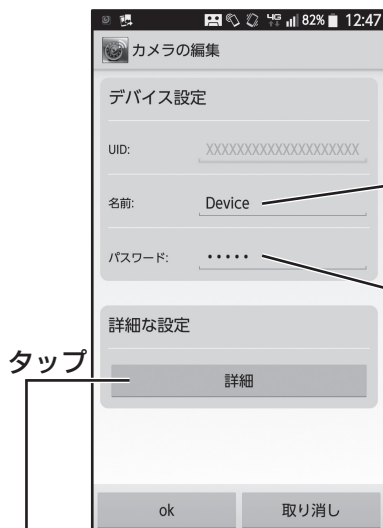
タップするたびに「ON」、「OFF」が切り替わります。

保存した写真を見る

現在の画像を保存する

タップすると、画像(静止画)を保存します。

《カメラの編集画面》デバイスリスト画面(p.49)でⓈ[アドバンス(拡張)機能]をタップして、「カメラの編集」をタップすると、表示します。



名前を変更する

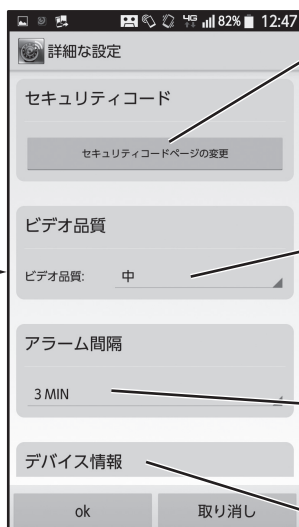
変更したい名前を入力します。

パスワード

パスワードの変更を行なった場合、変更後のパスワードを入力します。

- パスワードは、モニターのメニュー画面から確認できます。「ネットワーク情報の確認」(p.40)をご覧ください。

《詳細な設定画面》



パスワードの変更をする

パスワードを変更する場合、タップして変更します。

- パスワードは記号を含まない15～20桁の半角英数にしてください。
- 変更したパスワードは、モニターのメニュー画面から確認できます。「ネットワーク情報の確認」(p.40)をご覧ください。

カメラの解像度を変更する

タップして、カメラの解像度を変更します。

- 高:高画質、低フレームレート
- 中:標準画質、標準フレームレート
- 低:低画質、高フレームレート

アラーム(警報)間隔を変更する

タップして、アラーム(警報)の間隔を変更します。アラーム(警報)を止めることもできます。

デバイス情報を見る

タップすると、デバイスの情報を見ることができます。

録画した映像を再生する(Android)

スマートフォンで
映像を見る

- ① デバイスリスト画面(p.49)で
- ☑ [アドバンス(拡張)機能]をタップし「イベントの表示」をタップする
 - イベントリスト画面が表示されます

デバイスリスト画面



- ② 再生したい録画ファイルをタップする
- 録画ファイルが再生されます

イベントリスト画面



ご注意

- 録画ファイルの再生は、映像のみで音声は再生されません。
- ネットワーク回線的环境によって、再生している映像がコマ送りにになったり、遅延したりすることがあります。
- 録画ファイルの再生は、1台のスマートフォン・タブレットのみで行うことができます。同時に複数台での、録画ファイルの再生はできません。

症状	確認内容	ページ
カメラの映像が出ない	カメラからのACアダプターが抜けていませんか。	14
	モニターに接続するACアダプターが抜けていませんか。	14
	モニターの電源がOFFになっていませんか。	12
	カメラの電源表示灯は点灯していますか。	11
	カメラとモニターの電波状態が悪くありませんか。	15
	モニターの充電がなくなっていないですか。	12
背景が黄色っぽく映る	室内の照明器具の明かりで、白い壁が黄色っぽく映ったり、色合いが変わったりすることがありますが、故障ではありません。	—
録画できない	microSDカードは入っていますか。	17
	microSDカードを初期化しましたか。	34
	上書き録画の設定になっていますか。	35
	外付けハードディスクは接続されていますか。	18
	録画設定に間違いはありませんか。	24
	カメラとモニターの電波状態が悪くありませんか。 電波の状態によっては、録画できないことがあります。	15
モーション検知録画が作動しない	検知対象(人、物)までの距離が長くないですか。	54
	カメラの周囲温度は高くないですか。	54
再生できない	録画ファイルは保存されていますか。	28
	録画中にモニター電源をOFFにしていますか。	—
	モニターの電源を入れ直してください。	12
専用アプリを検索できない	検索ワードに間違いはありませんか。	43
	iPadの場合、iPhone用アプリで検索していますか。	43
スマートフォン・タブレットにカメラの映像が出ない	インターネットに接続されていますか。	43
	モニターの電源を入れ直してください。	12
スマートフォン・タブレットに通知がこない	スマートフォン・タブレットの通知設定をONにしていますか。	44 45
モニターの白色部分がモザイク状になる	本機の液晶モニターの特性で、モザイク状になることがあります。異常ではありません。	—
夜間の暗視撮影が赤色っぽい、または紫色っぽい	赤外線照射の光に赤色が混ざっているためです。故障ではありません。	—

お手入れとメンテナンスのご注意

- 本機や本機の付属品は、お子様の手が届かないようにしてください。
- カメラの性能に悪い影響があるため、カメラのレンズ表面に指紋や汚れを付けないでください。また、手でレンズ表面を触らないようにしてください。
- レンズが汚れた場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭取ってください。
- 本機を分解しないでください、故障の原因となります。
- 本機を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。
- ACアダプターは、必ず付属の専用ACアダプターを使用してください。

別売品

モニター & ワイヤレスHDカメラセット

増設カメラ

WHC7M2-C

- モニター 1台につき、最大4台まで接続可能です。

ご注意

増設カメラは、当社製品WHC7M2-Cをご利用ください。

当社製品WHC7M-C、WHCHD-CIIは、本機の増設に対応していません。対応しているカメラの最新情報は、当社ホームページをご覧ください。



モニター&ワイヤレスHDカメラセット用

アンテナ 延長ケーブルセット

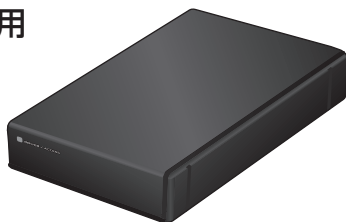
WHC-A5C



モニター&ワイヤレスHDカメラセット用

外付けハードディスク

WHC-HDD2TB



カメラ部

AASPRO

項目		規格
イメージセンサー		1／2.7インチCMOSセンサー
画素数		約200万画素(1920H×1080V)
撮影距離		約1.5m～∞
撮影画角		水平:約90°、垂直:約50°
撮影照度		0Lux以上(赤外線撮影時)
赤外線照射距離		最大10m※1
防じん防水性能		IP66(軒下など直接雨がかからない場所を推奨します)
赤外線人感センサー		検知距離 約7m(検知角 約90°)※2 (夜間は検知距離が短くなります)
内蔵マイク		あり
無線通信	使用周波数帯域	2.4GHz(2400～2484MHz)
	変調方式	GFSK
	スペクトラム拡散	周波数ホッピング方式(FHSS)
	データレート	6Mbps
	映像方式	H.264
	通信距離	最大300m(見通しがよく、電波の妨害のない環境において)※3
カメラ電源ケーブル長		約3.2m
使用温度範囲		⊖10～⊕50℃
電源		DC9V(ACアダプター使用):AC100V
消費電力		8W(赤外線点灯時)
外観寸法		66(H)×127.5(W)×62(D)mm(カメラ本体) (ACアダプター:72(H)×41(W)×35(D)mm)
質量(重量)		約460g

※1 暗所で良好に撮影が可能な距離は約半分になります。

※2 カメラを横切る動きは検知しやすく、正面から近付く動きは検知しにくくなります。また、夜間は検知距離が短くなります。その他、環境によって短くなる場合があります。

※3 無線通信距離は、見通しがよく他の電波の妨害を受けない環境において、最大300mです。カメラとモニターの間に壁など(木造壁・床、金属製のドア、コンクリート、鉄骨、金属の障害物)がある場合には、電波が減衰して通信できる距離が短くなります。(木造建築の場合、10～40mが目安となります)

モニター部

AASPRO

項目	規格
モニターサイズ	7インチフルカラーモニター(1024H×600V)
タッチパネル	加圧式
カメラ接続台数	最大4台(4台同時録画可能)
録画保存	microSDHC/microSDXCメモリーカード(最大256GB)(クラス10以上) 外付けハードディスク WHC-HDD2TB (別売品)(最大2TB) ●フォーマット形式:FAT32
録画解像度	1920H×1080V(Full HD) / 1280H×720V(HD)
録画フレームレート	最大12FPS
録画モード	モーション検知、スケジュール、マニュアル
上書録画	可能(ON/OFF):4台同時録画可能
再生方式	本体モニター再生、スマートフォン、タブレット ●録画ファイル形式:ASF
内蔵バッテリー	リチウムイオン(4400mAh)
充電時間/使用時間	充電時間:約6時間/使用時間:約4時間(外付けハードディスクなし)
USB端子	USB2.0対応(バスパワー最大500mA)
HDMIミニ端子	タイプC、Ver1.4対応 (1080i/720p入力対応のハイビジョンテレビモニターが必要)
防じん防水性能	なし(非防水)
使用温度範囲	0~⊕40℃
電源	DC5V(ACアダプター使用):AC100V
消費電力	7W(12W:充電中)
外観寸法	130(H)×198(W)×56(D)mm (ACアダプター:86(H)×44(W)×36(D)mm)
質量(重量)	約450g

スマートフォン・タブレット

AASPRO

項目	規格
対応OS	iOS6.0以降 Android4.0以降 (iOS10.3、Android6.0まで動作確認済)
専用アプリ	iHomeCam

モニター & ワイヤレスHDカメラセット

MODEL WHC7M2

保証書

お客様ご住所		
TEL. — —		
★お客様お名前		様
★保証期間(販売店記入欄)		
お買上げ日		年 月 日から1年間
★販売店名・住所(販売店記入欄)		
TEL. — —		

★印の欄にご記入のない場合、または、販売店の発行した、お買上げ日、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合、無効になります。本書は再発行いたしませんから、紛失しないよう大切に保管してください。

無料修理規定

○「取扱説明書」などの注意にしたがった正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合、お買上げの販売店に本製品と本書をご持参、ご提示のうえ、修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。

○ 次のような場合、保証期間中でも有料修理になりますから、ご注意ください。

- ・ 本書のご提示がない場合。
- ・ 本書に、お客様お名前、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、または、販売店の発行した、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合。
- ・ 本書の字句を書換えられた場合。
- ・ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障および損傷。
- ・ ご使用上の誤りによる故障および損傷。
- ・ 不当な修理や改造による故障および損傷。
- ・ お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
- ・ 他の機器などにより誘発する故障および損傷。
- ・ 一般家庭用以外(例えば業務用や車両・船舶への搭載など)に使用されたときの故障および損傷。
- ・ 設置工事、施工の不備によって生じた故障および損傷。

○ 本書は日本国内に限り有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

本書に明示した期間および条件で、無料修理をお約束します。保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にお問合わせください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により、有料修理いたします。

持込修理

＝マスプロ電気株式会社＝

本社 〒470-0194 (本社専用番号) 愛知県日進市浅田町上納80
営業部 TEL名古屋 (052) 802-2244

＝マスプロ電気＝

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80

技術相談



0570-091119

ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは **052-805-3366**
受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット www.maspro.co.jp

製品向上のため 仕様・外観は
変更することがあります。